

マラウイ国における農業水利施設とその利用について（号外）

22年1次隊 菅野 将央

1. はじめに

マラウイ国における農業政策の大きな柱として、Food Input Subsidy Program(FISP)とGreen Belt Initiative(GBI)がある。GBIはかんがい面積の拡充による農業生産量の向上を図るものであり、小規模かんがい開発や中規模～大規模かんがい施設の建設がこれにあたる。本稿では、FISPの施策と状況を紹介する。

2. Food Input Subsidy Program(FISP)について

マラウイ国における農業は、就業人口の80%を占めており、マラウイ経済の柱というべき産業である。本国の営農形態は主に外国人が経営する『エステート』(紅茶などを生産)と『小規模農家』の二つに大別される。小規模農家は、耕作面積が平均0.3ha以下といわれており、狭い農地に痩せた土壌や不安定な気象等の生産性を低下させる不利な条件が加わり、ひいては現金収入がないために種子・肥料が購入できない状況となっている。

このプログラムは、小規模農家向けの化学肥料・種子補助金プログラムであり、農業・食料安全保障省が2005年度から導入している。受益者として選定された農家は農業普及所で『クーポン』を受け取り、化学肥料・種子を低価格で購入できる。クーポンは、化学肥料がNPK(窒素・リン・カリウム)と尿素の各一枚、それから、主食であるメイズ種子(10kg)とその他豆類(落花生)の計4枚綴りになっている。特に化学肥料の割引率が高く、通常で価格5,000MK(マラウイクワチャ)のものが500MKで購入できる。種子も市場価格の5割以上値引きされる。



写真1, 2 表面と裏面。上からNPK, 尿素, メイズ, その他豆類となっている

クーポンは、あらかじめ作成された名簿と身分証明書を照合して配付され、さらに、配付後は集落代表者による確認作業が行われる。デッサ州の各普及所で、本年度は11月21～23日の3日間に渡って約3万人以上を対象に配付された。一部で、身分証明書と名簿の氏名等が違い配付されないなどの混乱が見られたが、配付作業は概ね滞りなく行われた。

名簿作成の際の記載漏れや氏名の間違いなども多いと思われ、それが混乱の原因になっ

ているようであった。受益者の選定方法などについて、農業省と農家に聞き取りを行ったが不明確であった。



写真3：配布後の状況

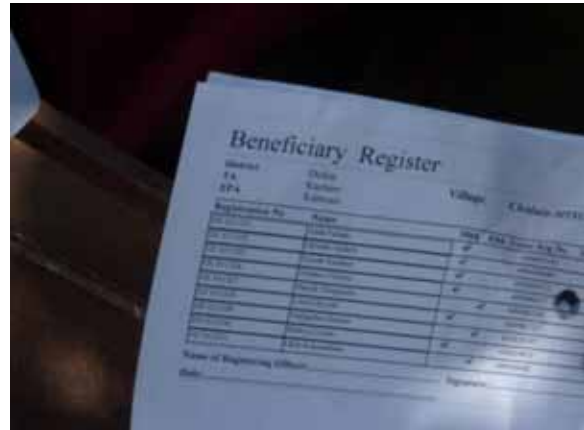


写真4：受益者名簿

3. まとめと考察

この施策は、マラウイ国内の大多数を占める現金収入の少ない小規模農家に対する直接補助であり、化学肥料とF1品種の種子による作付けが生産の安定と向上をもたらす点で効果が高いように思われる。特に食料保障の観点からは、2004/05のメイズの収量が過去10年で最悪だったが、2005/06～2008/09は豊作を記録して食料危機から脱しており、本施策がその効果の一端を担っていると考えられる。しかし一方で、本施策に対する農民の依存度が非常に高くなっていることが予想され、施策の転換が難しくなること（または改変ができないこと）、乾期作に対しては補助が無い場合、かんがい区域の拡大が図られても農民が生産行動を取らなくなるといった懸念がある。また、農民がクーポンを売買し現金化してしまうなどの問題がある。クーポンを売買してしまえば、自らの耕地の生産性が低下し現金収入等が向上せず、結局は補助の依存から脱却できないといった悪循環が生まれているのも事実である。

かんがいによる一定の成果と問題点については、『マラウイ国における農業水利施設とその利用について(その2)』にて述べた。乾期作を現金収入向上の一つの手段とするならば、一定の期間を通じて種子や肥料を供与すること、リードファーマーを育成し緩やかな集団営農を育成するといったソフト面の強化や、何らかの補助の必要があるのかもしれない。欧州からの援助では、かんがい事業に付随して種子や苗を供与する方法がとられている。日本でも行われているような間接補助と直接補助を組み合わせた仕組み作りをしていくことも方法の一つであろう。

クーポン配布のような即効性の高い施策とかんがいのような中長期的に効果を発現させる施策を比較するのは無意味なことである。しかし先ほど述べたように、収入の少ない農村地域では、かんがい整備後の生産から収入に至るまでの過程で生産行動を放棄してしまう場合もある。さらに予想以下の生産高だった場合に同様の問題が発生しているのも事実である。かんがい施設の維持管理、水管理における集団的な合理性が日本のように成熟していないこともあるため、教育的な意味も踏まえ、ソフト施策を組み合わせながらかんがい施設の段階的な適正利用を進めて行くことも一つの手段となり得るのではないだろうか。